オンライン転売
解体新書
導入・準備編

YOURS

目次

- オンライン販売とは ・・・・P.1
- オンライン物販市場の現状 ・・・・P.2
- Amazon販売のメリット ・・・・P.3
- 準備するもの ・・・・P.7
- Amazonアカウント作成 ・・・・P.8

  ※審査不要な登録可能カード ・・・・P.8
- 注意事項 ・・・・P.8

1、オンライン転売とは

オンライン転売とは、国内大手ECモールの「Amazon.co.jp」に自身の店舗を出店し、商品の販売を行うビジネスです。

商品の仕入れは、卸会社や商社を使う場合もありますが、一般的には、国内の家電量販店やECサイトなどでAmazonよりも安く販売している店舗から商品を購入し、Amazonで販売、利益を得ます。

1、オンライン物販市場の現状

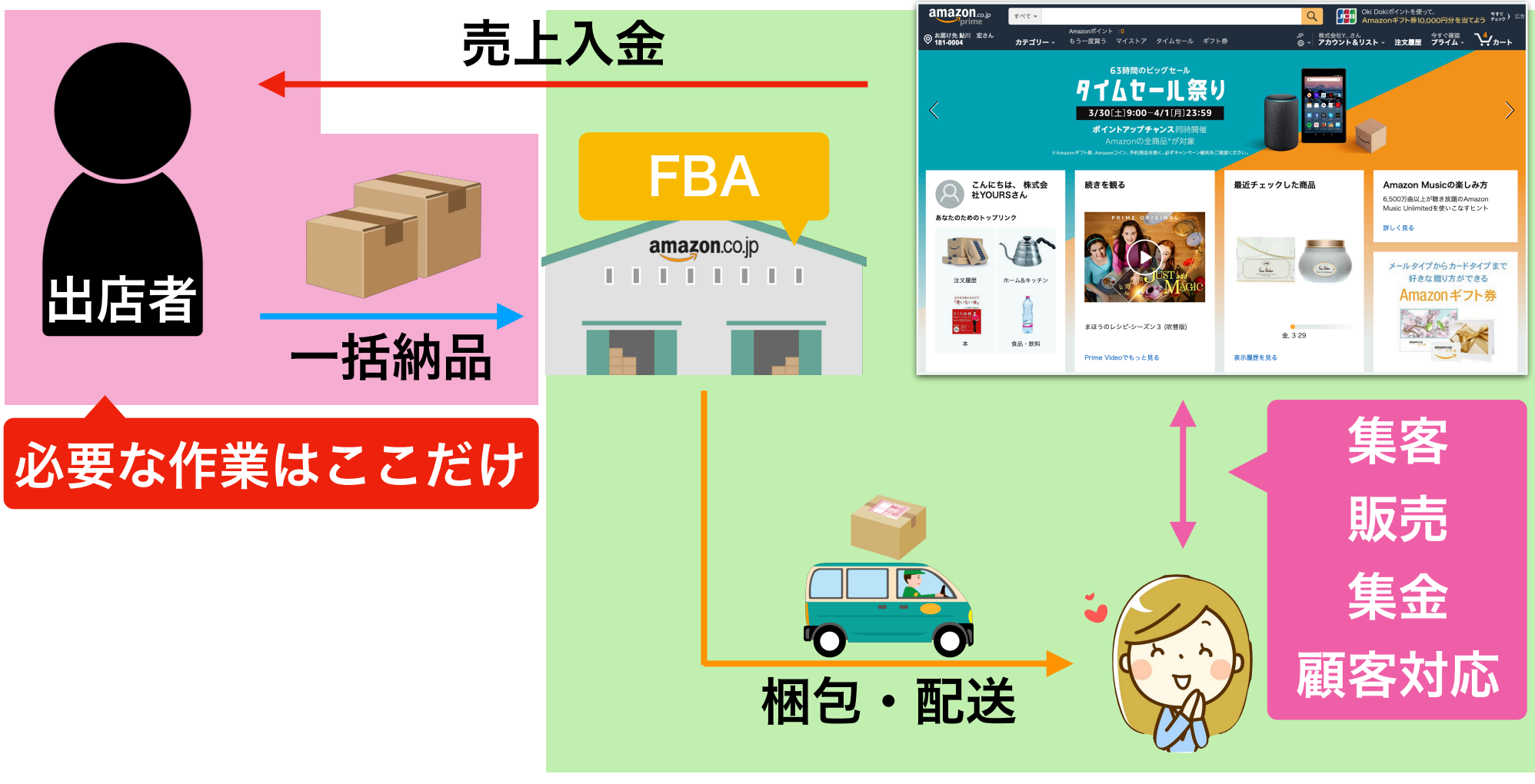
スマホ一つで始められるフリマアプリから自社運営サイトの構築など、ネット上で商品を販売する際、自己資本量や体制により複数の選択肢があります。

それぞれのメリットやデメリットはありますが、本マニュアルでは個人でも比較的簡単に取り組むことが可能な「Amazon」での販売方法について解説致します。

また、Amazonへの出店には月額無しの「**小口出品**」と月額4900円(税抜)の「**大口出品**」の２種類がありますが、本資料では次ページで紹介する「**フルフィルメント by Amazon (FBA)** 」を使用出来る「**大口契約**」を前提に解説致します。

※小口契約と大口契約の違いは下記ページをご参照ください
→**大口出品と小口出品の違い（公式）**

2、Amazon販売のメリット



通常、自身で店舗運営をする場合、「**商品保管**」「**集客**」「**販売**」「**集金**」「**梱包**」「**発送**」「**顧客対応**」などの様々な対応が必要です。
企業ではこれらの対応を行うために膨大なコストを日々投資していますが、Amazonではこの作業を一括して対応するサービス「**フルフィルメント by Amazon (FBA)** ※」を提供しています。

そのため、出店者は商品を国内のAmazon配送センターに一括納品をすることで、最小限のコストで店舗を運営することが可能です。

※利用にはAmazonの大口契約が必要です。

3、準備するもの

＜必須＞
・メールアドレス（フリーメール可）
・Amazon販売アカウント
・銀行口座（売上入金用）
・クレジットカードまたはVISAデビットカード
・パソコンまたはスマートフォン

＜必要に応じて＞
・古物商許可証
（小売店から新品のみを購入し販売する場合は不要）

＜備品＞
・プリンター
・ラベルシール → **参考商品**
・A4用紙
・カッターナイフまたはハサミ
・シール剥がし
・ダンボール（納品用）

※「ラベルシール」はFBA配送センターへの納品時に使用しますが、別途サービスを利用することで省略も可能です。
詳しくは、マニュアルの「出品・納品編」をご確認ください

4、Amazonアカウント作成

1、Amazonアカウント作成

Amazonの出店ページから、出品者登録画面に移動します。

出店ページ：**https://services.amazon.co.jp/**

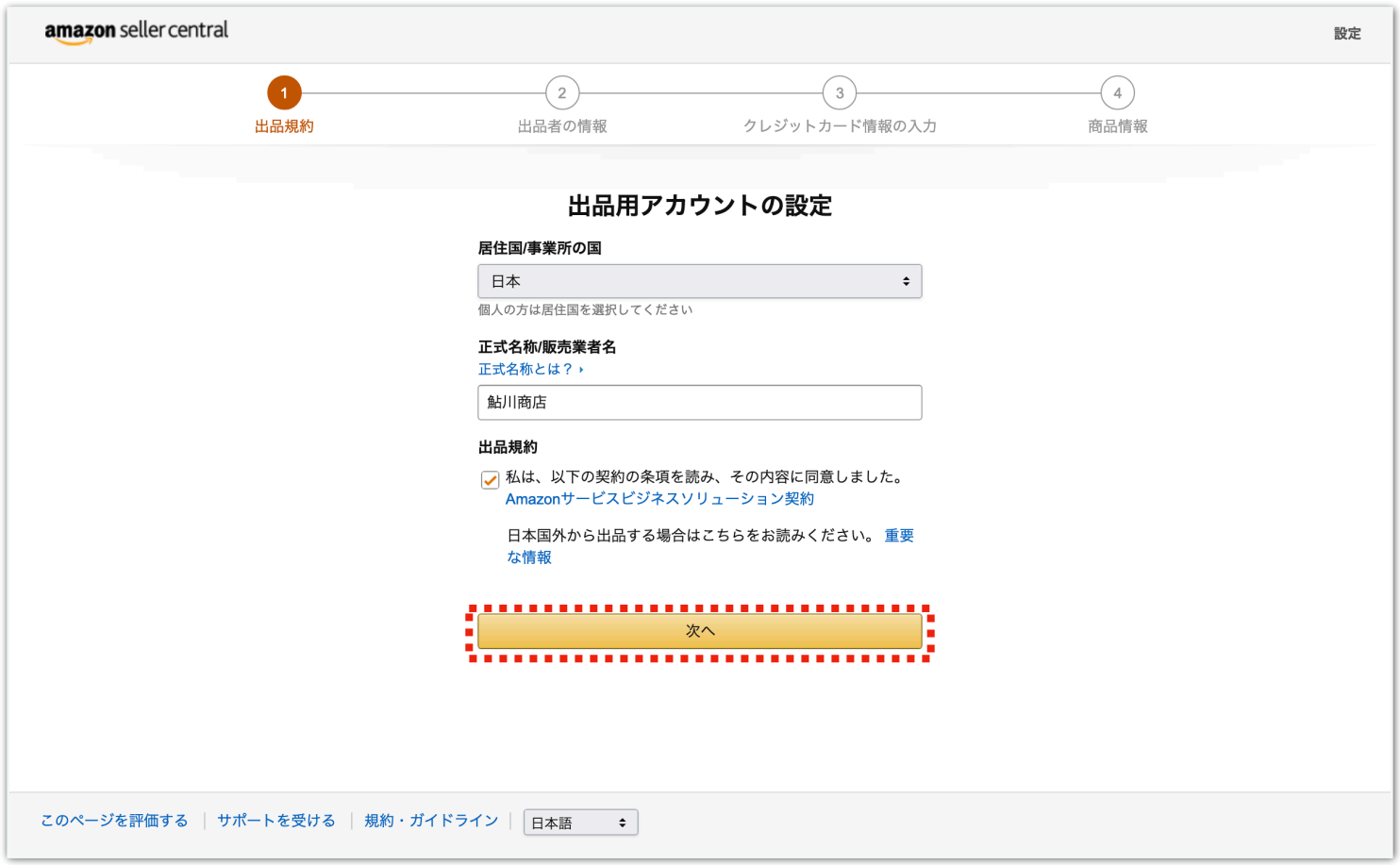
2、Amazonアカウント作成

ログイン画面下部の「Amazonアカウントを作成」をクリックします。

名前、メールアドレス、パスワードなどを入力し、「Amazonアカウントを作成」をクリックします。

3、メールアドレス認証

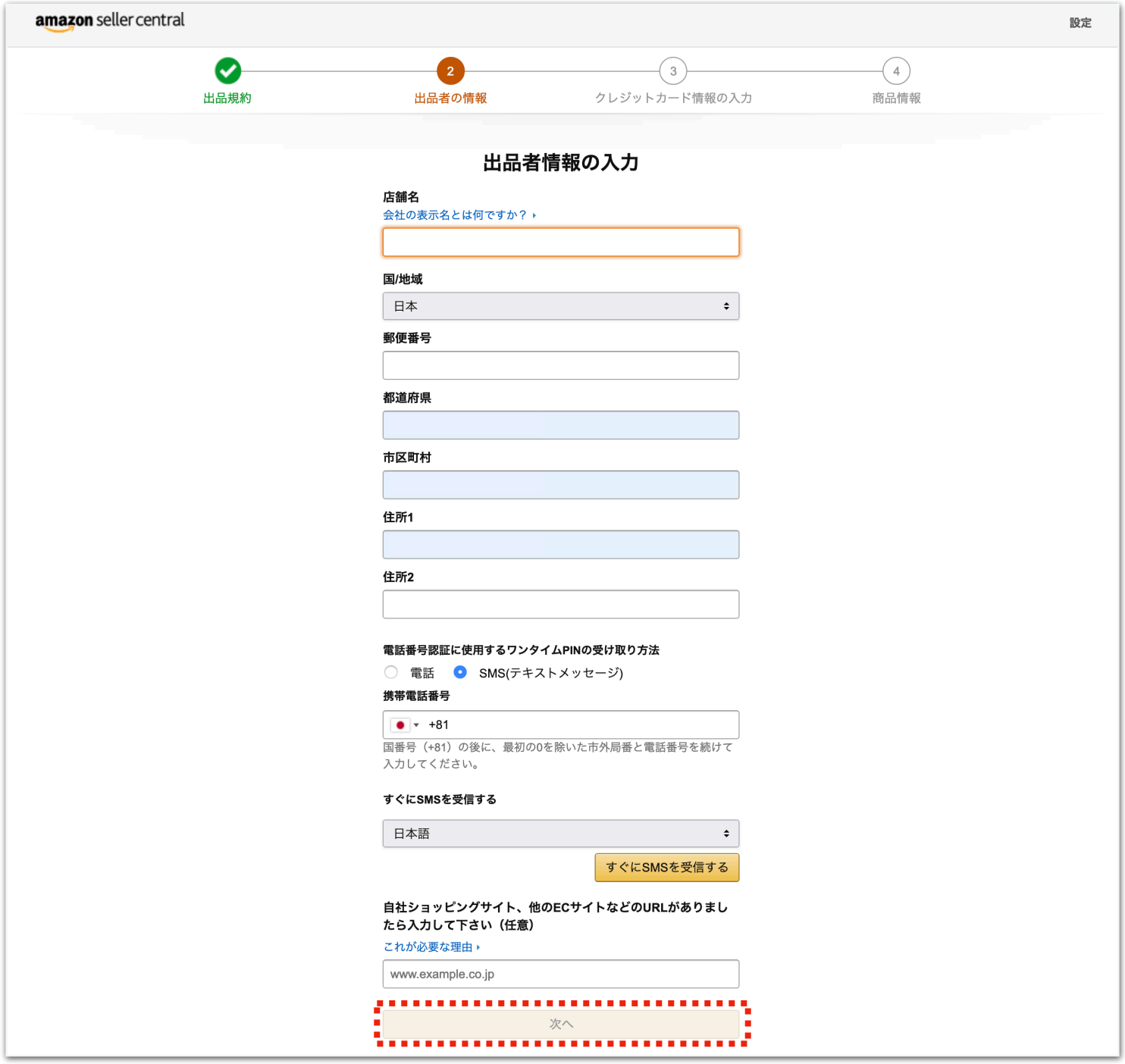
Amazonから「**新しいAmazonアカウントを確認します**」という件名のメールが届きますので、メール本文に記載の**認証用コード（数字6桁）**を入力し、「確認」をクリックします。



「正式名称/販売業者名」欄に法人名または事業者名（個人名）を記入します。

出品規約への同意チェックを入れて「次へ」をクリックします。

4、出品者情報入力



Amazonに登録する出品者の情報を入力します。

・店舗名：Amazon内に表示される店舗名
・郵便番号
・都道府県
・市区町村
・住所１：番地、部屋番号
・住所２：建物名
・自社ショッピングサイトURL

全ての情報を入力後、「次へ」をクリックします。

5、クレジットカード情報入力

Amazonに登録するクレジットカード情報を入力します。

Amazonでは毎月の月額出店料（4,900円/税抜）は売り上げから差し引かれますが、売上額が月額出店料以下の場合、登録したクレジットカードに請求が行われます。

また、売上額が月額出店料以上の場合も定期的に登録したカードが有効なカードか確認が行われ、無効なカードが登録されている場合には売上入金が延期されますので、必ず有効なカード情報を入力してください。

※審査不要な登録可能カード※

クレジットカードをお持ちでない、または何らかのご事情で作ることが出来ない場合は審査不要のデビットカードやプリペイド式カードなどを登録することが可能です。

以下に一例を掲載致しますのでご確認ください。
（リンクで公式HPに移動します）

■VISAデビットカード取扱金融機関
・三菱UFJ銀行
・三井住友銀行
・ジャパンネット銀行
・楽天銀行
・りそな銀行
・ソニー銀行
・スルガ銀行
・住信SBIネット銀行
※Jデビットカードは登録不可ですのでご注意ください。

■プリペイド式カード
・Vプリカ
・バニラVisa
・バンドルカード

6、取扱商品情報入力

出品するの種別や数量を入力します。
省略も可能ですので、省略する場合は「省略する」をクリックしてください。

入力する場合は画像の入力内容を参考にご入力ください。
（入力内容により出品商品の制限が増えたり解除されることはありません）

6、２段階認証設定

Amazonでは、不正ログイン防止のためログイン時に２段階認証（設定パスワード+ワンタイムパスワード）設定が必須となります。

認証方法は２段階認証の方法は「SMS」「音声電話」「アプリ」の３種類があります。
ここでは、「SMS」認証の方法を解説致します。

先に登録した２段階認証が使用できなくなった時の認証方法を設定します。設定可能な方法は１回目の設定と同じです。
電話番号で認証する場合、１回目と同じ電話番号は使えないので別のので電話番号を入力してください。

※アプリ認証について※
iOSまたはandroid端末に専用アプリをダウンロードすると、アプリ内で一定期間ごとに更新される数字を入力することでログインが可能です。
アプリの仕様については下記リンクをご確認ください。

・**Googleplay(Android)**
・**iOS(appstore)**

amazon seller central

3ページ目 / 全3ページ

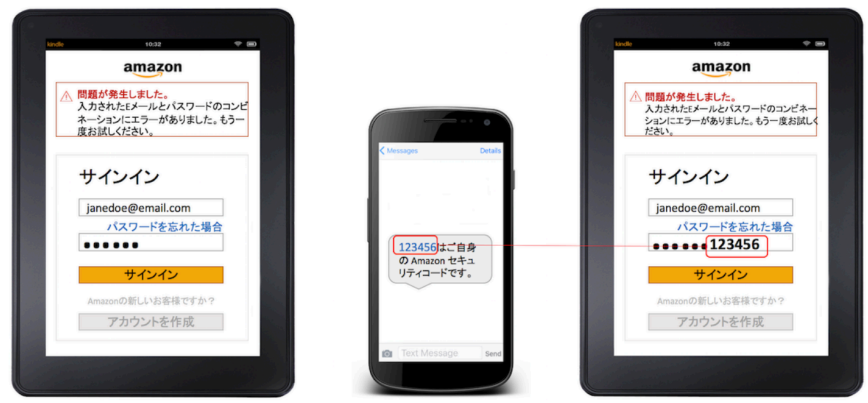
3. 設定前の最終確認

最後に以下の内容をご確認のうえ、画面下部の[2段階認証を設定]をクリックしてください。

1. サインイン画面でコードの入力欄が表示されない場合

一部の端末ではセキュリティコードの入力画面が表示されません。この場合、以下の方法でサインインしてください。

1. パスワードを入力してサインインすると、エラーメッセージが表示されます。
2. 第一手段の携帯電話にコードが送信されます。認証アプリでコードを生成することもできます。
3. パスワードの後に続けてコードを入力し、再度 [サインイン] をクリックします。



以上の方法でアカウントにサインインできます。

2. 特定の環境に対してコードを不要に設定する場合

現在ご利用の端末で次回以降Amazonにアクセスする際、パスワードのみでサインインできるように設定できます。ご希望の場合は以下にチェックを入れてください。
注：同じ端末の異なるブラウザやアプリでサインインする場合はコードの入力が必要です。端末はブラウザのセッションごとに記憶されます。このため、同じ端末の異なるブラウザからアクセスしたり、Cookie・キャッシュを削除すると、コードの再入力が必要になる場合があります。

☐ このブラウザではコードは必要ありません

2段階認証を設定

2. 特定の環境に対してコードを不要に設定する場合

現在ご利用の端末で次回以降Amazonにアクセスする際、パスワードのみでサインインできるように設定できます。ご希望の場合は以下にチェックを入れてください。
注：同じ端末の異なるブラウザやアプリでサインインする場合はコードの入力が必要です。端末はブラウザのセッションごとに記憶されます。このため、同じ端末の異なるブラウザからアクセスしたり、Cookie・キャッシュを削除すると、コードの再入力が必要になる場合があります。

☐ このブラウザではコードは必要ありません

2段階認証を設定

２段階認証登録が完了するとログインが可能になります。
確認画面に表示される「特定の環境に対してコードを不要に設定する場合」のチェックを入れて設定完了をすると「同一のPCかつ通信環境」では2段階認証付与でログインが可能です。

※振込先登録※

アカウント有効にするためには、売上金の振込先を登録する必要があります。
初回ログイン時点では設定が行われていない為、「決済情報」欄の「入金方法情報を確認」のリンクから振込先情報を登録してください。

出品用アカウント情報のページ内にある「銀行口座情報」をクリックします。
新規口座情報を入力する場合、「登録」をクリックします。

■登録情報

・口座の名義人名（半角カタカナ）

・口座種別

・銀行コード ※

・支店コード

・銀行口座番号

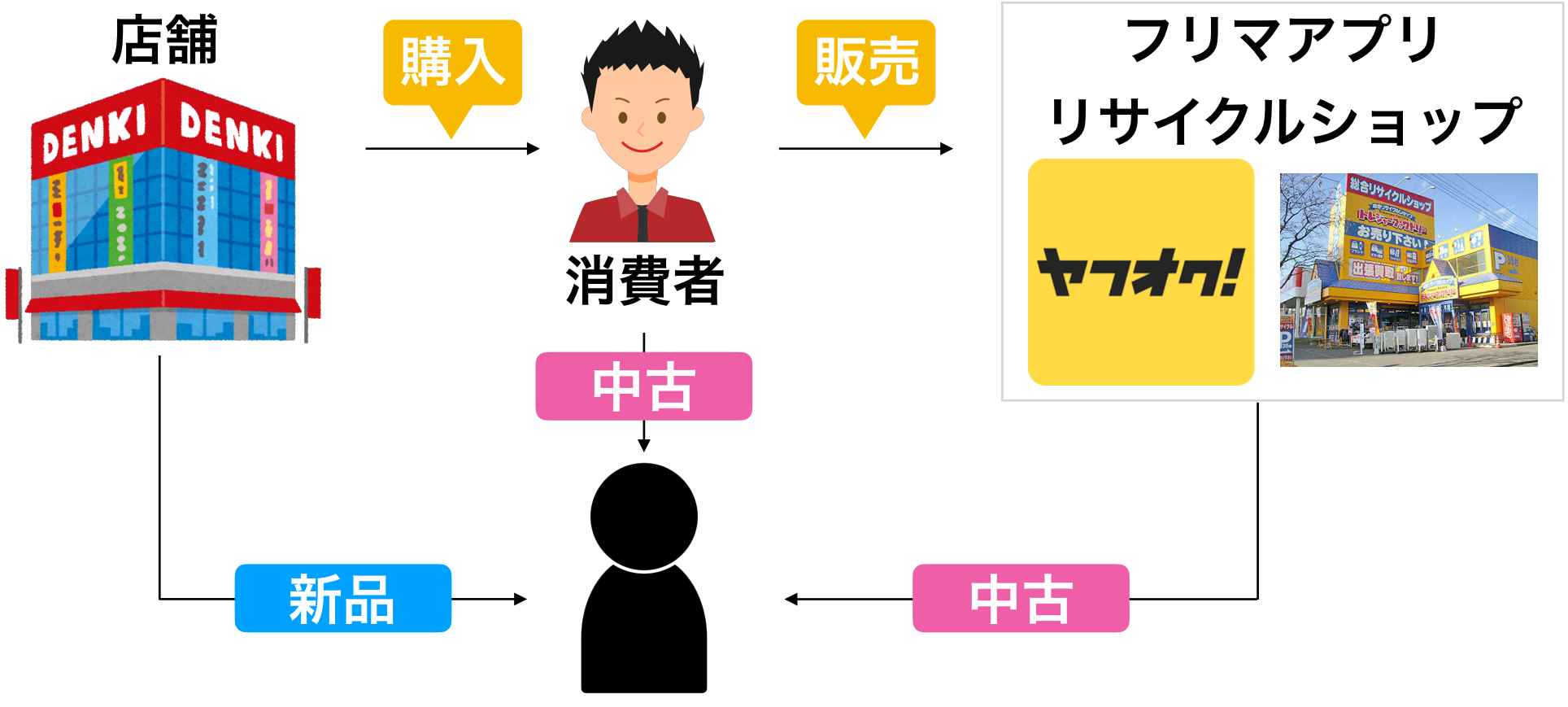
※ 各金融機関の銀行コード（金融機関コード）の確認はこちら

→**金融機関コード・銀行コード検索**

全ての情報の登録が完了するとアカウントが有効となります。

5、古物商の取得について

■古物営業法による中古の基準



未開封であればAmazonではどれも『新品』として販売可能

Amazonで商品を販売する場合、中古品を仕入れ、販売する場合には、「古物商許可申請」が必要です。

「古物営業許可法」では商品の状態に関わらず「**一度でも消費者の手に渡った商品**」が「中古品」という判断になります。
そのため、たとえ未開封・未使用の商品であっても個人からの直接買取やオークションサイト、リサイクルショップからの仕入れた商品を販売する際は「古物商」の取得が必須となります。

「新品」「中古」の区別は古物営業許可法での判断とAmazon内での商品状態とで異なりますのでご注意ください。

■古物商の申請方法

古物商の申請は事業所とする場所（自宅や事務所など）を管轄する警察署で行います。

また、申請に必要な書類は以下の通りとなりますので事前に用意の上、最寄りの警察署に申請してください。

１）許可申請書　（※警察署）
２）経歴書　（※警察署）
３）誓約書　（※警察署）
４）住民票　（※市役所）
５）外国人登録証明書
６）身分証明書　（※市役所）
７）会社定款の写し　（法人）
８）登記簿謄本　（法人）
９）管理者名簿　（法人）
１０）営業所一覧　（法人）
１１）賃貸契約書の写し

参考）
古物商許可申請　警視庁HP

5、注意事項

1、複数アカウントの禁止

・Amazonのアカウントは原則1人（1法人）につきアカウントと規約で定められています。
2アカウント以上を作成した場合、いずれかまたは全てのアカウントが停止される場合がありますのでご注意ください。

・同居家族名義などでの登録をする場合、名義やクレジットカードを変えてもAmazon側から同一人物と見なされ、アカウント停止の対象となる場合があります。
同一家族が別々で店舗を運営する場合、必ずAmazonテクニカルサポートまで連絡をするようお勧めいたします。

2、同一IPからのアクセスについて

・上記同様、同じルーターを通してのAmazonアカウントへのアクセスは、Amazonから同一人物と見なされる場合があります。
「レンタルオフィスの共有WIFIを利用していたところアカウントが停止された」「漫画喫茶でアクセスしたらアカウントが停止された」などの理由でアカウントが停止されたケースも実在します。
Amazonにアクセスする場合はアカウント保護のためにも、「自分専用の環境以外でアクセスしない」「友人であってもWIFIの共有には細心の注意を払う」など十分に対処をしましょう。